

デイリーレポート

船長署名 *T. Maru*

船 名	大 島 丸	情報発信日時	2025 年 6 月 5 日 12 時 00 分
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分 概位 相模湾 <Lat. 35 - 03.9 N + S Long. 139 - 27.1 E + W >	
	停泊中	時 分 概位 <Lat. - N + S Long. - E + W >	
	錨泊中	時 分 概位 <Lat. - N + S Long. - E + W >	
	操業中	時 分 概位 <Lat. - N + S Long. - E + W >	
	観測中	時 分 概位 <Lat. - N + S Long. - E + W >	
本船状況 気象海象	針路： 適宜 度 船速： 適宜 kt 天候： bc		
	風向： S 風速： 7.5 m/s 視界： 7 湮		
	波高： 0.5 m 風浪階級： 3 うねり階級： 1		
乗船者 状況	乗組員	現在員： 19 名 健康状態： 良好 不良	
		摘要：	
	生徒	現在員： 17 名 健康状態： 良好 不良	
		摘要：	
	指導教官	現在員： 4 名 健康状態： 良好 不良	
		摘要：	
	アドバイザー スタッフ	現在員： 1 名 健康状態： 良好 不良	
		摘要：	
○本船動静 6月5日07時05分館山湾抜錨			
【学校側コメント】 昨日は、錨泊後に盛り沢山の実習メニューを行いました。班ごとに分かれてブリッジや機関室見学、さらには船外で透明度測定や水温測定等。ブリッジが頭脳なら機関室は心臓部、様々な船員が責任を持って大島丸を安全に運航している。そんな一端を見て知ってもらえたと思っています。 本日は、操舵訓練で実際に操船する実習、CTD観測器を用いて500mまでの水温測定、海面付近のプランクトンや稚魚採集のためにプランクトン・ネットを曳航する実習を行います。午後も操舵訓練は続きます。自分が指示された舵角まで舵を動かす、少しすると船が回頭を始める。自分の操舵で大島丸を左右に動かしていることを実感出来る瞬間です。操舵の実際で一番苦勞して神経を使うのは、船を真っ直ぐに走らせる操舵です。車のハンドルと違い、船の舵輪を真っ直ぐにしても直前の舵角作用が残り惰性で船首は振れます。この惰性を如何に抑えるか、少なくするか…そのための操舵実習でもあるのです。幸い、本日は海況にも恵まれて風波の影響はありません。神経を集中させて操舵実習に取り組んで欲しいと思っています。操舵実習の後には、「棒ずり」も予定されています。明日の下船に備えてデッキを綺麗にするためにも、両手にしっかりと力を込めてデッキ・ブラシで擦り、綺麗にして欲しいと思っています。			